

# 仕様書

## 1.業務名:

平成 30 年度 コミュニケーションプラットフォーム構築等委託業務

## 2. 背景

本市は基本的な課題として、地下水に生活用水を依存していることから、環境への負荷を低減する環境保全対策を行うこと、沖縄県の離島に位置することから、エネルギー等の資源を地産地消する資源循環の仕組みづくりを行うこと、こうした取り組みを地域経済の活性化に繋げることで、雇用を創出することの3点に整理している。

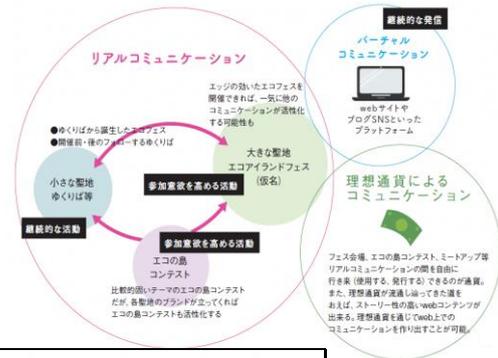
これらの課題を総合的に解決していくために、市では、平成 20 年 3 月に「エコアイランド宮古島宣言」(平成 30 年 3 月に 2.0)を行い、いつまでも住み続けられる豊かな島づくりを目指し、自然環境と共生しつつ地域資源を活用した低炭素社会の構築に向けて取り組んでいる。

## 3. 事業の目的

多くの市民や団体等がエコアイランドに取り組んでいることを伝え、「共感」を得ることで、再来訪者(リピーター)数の増加やファン層の拡大を目指す。

## 4. 事業の内容

エコアイランドのブランド化により地域経済の活性化に繋げるため、視察等産業観光における受入体制整備や市内におけるエコ関連活動の活性化を促す舞台装置=コミュニケーションプラットフォームの構築を行う。



コミュニケーションプラットフォームとは	
<b>現状</b> <ul style="list-style-type: none"><li>⇒ エコアイランドとは何か分からない</li><li>⇒ 何をすればいいのかわからない</li><li>⇒ もっと声を聞いて欲しい</li><li>⇒ いつ/誰が/どこで/何を、の情報が乏しい</li></ul>	<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"><li>⇒ 従来は「啓発」や「啓蒙」と呼ばれてきた。行政側から情報を周知し、伝達するものであり、一方的で「見てくれない」「読んでくれない」という根本的な課題。</li><li>⇒ エコアイランドに関しては行政から「教える」よりも自ら「気づく」ことによって他人事から自分事への変化を促す必要がある。</li><li>⇒ 情報を収集 / 交換 (コミュニケーション) できる舞台装置 (プラットフォーム) が必要。</li></ul>
<b>「現状」と「課題」解決のために、従来の啓発・啓蒙活動の見直しと戦略化</b>	
構築しあったり、ミックスしたり、適材適所でコミュニケーションを	
<b>リアル = イベント・WS</b> ネット上だけでなく、Face to Faceのコミュニケーションが必要。 <ul style="list-style-type: none"><li>⇒ 声を聞いて欲しい、に成える「ゆくりば」。</li><li>⇒ 少人数で集まるミニワークショップ。「エコ×○○」</li><li>⇒ 視野を広げるフェスのイベント。</li><li>⇒ エコイベント性質が異なるイベントで、エコへの関心を持つきっかけづくり。</li><li>⇒ エコ活動をリアルに知る「エコの島コンテスト」。</li><li>⇒ 新たな活動のきっかけやモチベーション向上。</li><li>⇒ エコ活動を支援する「理想通貨制度」。</li><li>⇒ エコアイランドへの参加意識の向上や連帯感の醸成。</li><li>⇒ 企業版エコ認定制度。</li><li>⇒ CSRとしての活用、企業のブランド化の促進・参加意識の向上。</li></ul>	<b>バーチャル = WEBサイト・SNS</b> 瞬時に情報交換でき、広く一般に啓蒙することができる自前のメディア。 <ul style="list-style-type: none"><li>⇒ 市民の活動をプロモーションビデオや特集記事にして配信。</li><li>⇒ 市民や団体が主体的に取り組んでいることを取材し、映像やブログ記事に。</li><li>⇒ SNSも活用し拡散させる戦略。</li><li>⇒ 高品質なコンテンツを投入し見るユーザーがシェア、一気に情報を拡散。</li><li>⇒ WEB上でのユーザーのコミュニケーションの促進。</li><li>⇒ 一方的なコミュニケーションではなく、WEB上でユーザー同士が活動を称賛合ったり企画を立てたり、エコアイランドの活動を展開できる。</li><li>⇒ SNSで団体等が発信する情報をシェア。</li><li>⇒ 公式サイトのブランド化を進めて情報発信力を高める。</li><li>⇒ 欲しい情報が一元化される。</li><li>⇒ エコアイランドの情報が一瞥して得られる。ふるさと納税の使い道など公費なども。</li></ul>

## 5. 委託業務の内容

この委託業務は、本事業のうち、以下の内容を業務の範囲とする。なお、以下の範囲は、必須事項であり、本業務は公募型プロポーザルで事業者を選定することとしていることから、選定された受託事業者の提案に基づき業務の内容を定めるものとする。

- (1) エコアイランドの定義・考え方を市民に広く浸透させるためのビジュアルアイデンティティ※  
<sup>1</sup>構築

- ✓ ロゴや各種 PR ツールの作成
- ✓ エコアイランドの標語や考え方を広く浸透させるための普及啓発資料の作成・印刷 (300 部)

※1 ロゴマークやシンボルマークなどの図案やデザイン制作物。伝えたいイメージを効果的に表現するツール

- (2) エコアイランド宮古島公式サイト (<https://eco-island.jp/>) の管理・運用

- ✓ 活動の取材(15回以上)、サイト更新(30回以上)、SNS 更新(50回以上)
- ✓ 高校生や市民ライターの育成
- ✓ サイトアクセス数の解析

- (3) ゆくりば(ミートアップ)の開催

- ✓ 「ゆくりば」は、ゆっくりおしゃべりできるサロンのような場。ゆるゆると気軽に、時には体験型とし、誰もが発言しやすく、どのような意見も聞き入れてもらえる、いわば井戸端会議です。
- ✓ 島内において「エコ×○○」をテーマにしたワークショップの開催

※10 名程度参加のワークショップを6回以上実施

※参加者への謝金は想定しない。

※開催場所は受託者と協議の上市が提供することを想定。

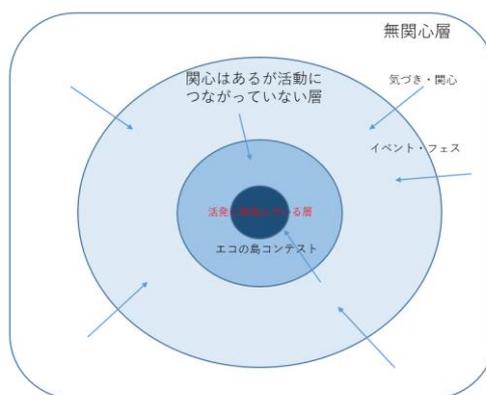
- ✓ 持続的な開催方法の検討

- (4) イベント・フェスの企画・開催(1回)

エコアイランドに関しては、関心を持って活発に取り組んでいる方から、関心はあるが活動につながっていない層、無関心層など様々な層が存在している。それぞれの層にあった施策を実施する。

- ✓ ターゲット:  
エコアイランドに関心を持っていない層
- ✓ 楽しみながらエコアイランドに対する気づきや関心をあたえられるイベントの開催  
※夏季頃を想定

- (5) エコの島コンテストの企画・開催(1回)



- ✓ ターゲット:
    - ・エコアイランドに関して取組んでいる層
    - ・関心はあるが、活動につながっていない層
  - ✓ エコアイランドに関して取組んでいる層に関して、自らの活動を発表する場を提供し、活動のモチベーションを維持させる。
  - ✓ 関心はあるが、活動につながっていない層に関して、活動している層の取り組みを知ることで、自らの活動を促すもの。
    - ※冬季頃を想定
- (6) 市民アクション促進制度の構築
- ✓ 多くの市民が楽しんでエコアイランドの取り組みに参加できる制度づくり
- (7) 民間企業の認定制度
- ✓ 認定制度の仕組み検討・構築
  - ✓ 認定ステッカー作成(デザイン含む)
- (8) コミュニケーションプラットフォームを持続するための仕組みづくり
- ✓ ランニングコストの検証
  - ✓ 体制づくり
  - ✓ 平成 31 年度以降の運営計画の立案
- (9) アンケート調査の実施
- ✓ 市民を対象とした、エコアイランド宮古島の標語・ストーリーの認知度を測るアンケート
  - ✓ 一般観光旅行者を対象とした、エコアイランドの認知度を測るアンケート
- (10) 会議の開催
- ✓ 定期的な担当者会議の開催
  - ✓ 年3回関係部課長への状況報告
    - 7月:進捗と方針
    - 10月:予算編成に向けた中間報告
    - 2月:結果報告と次年度計画
- (11) 成果報告書の作成
- (その他)
- 実施事項については、企画段階から市民を巻き込み作り上げていくこととする。そのため、当初提案から内容が変更になることを想定している。
  - 内容については、エコアイランド推進課と調整しながら進めて行くこととする。

## 6. 委託業務の期間

契約締結日の翌日から平成 31 年 2 月 28 日(木)

**7. 委託業務の成果物**

成果報告書(紙媒体:正1部、副1部)を提出する。

**8. その他**

経費の支出状況をまとめた実績報告書1部(支払いの事実を証する書類を添付)を提出する。

以上